

## 平成27年度第3回昭島市民図書館協議会

日 時 平成28年3月16日（水） 午後6時30分～

磯村係長 皆さんこんばんは。お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。これから平成27年度第3回昭島市民図書館協議会を始めます。開会に先立ちまして真如会長よりご挨拶を賜りたいと存じます。

真如会長 皆さんこんばんは。先の3月11日、東日本大震災から5年目、3月11日を忘れないということで、本多先生にいただいた本をテレビ放送で読み聞かせをしました。すごく良くて、本の力ってすごいなあと思いました。

本日、第3回昭島市民図書館協議会が開かれますが、市民図書館で色々やっけていただいていることを私たちができるだけ広げたり深めたりする会議として充実できればいいなと思っております。よろしくをお願いします。

磯村係長 ありがとうございます。（配布資料の確認）  
引き続き議事をお願いいたします。

真如会長 議題に入ります。

（1）平成27年度昭島市民図書館事業の進捗状況について

（（仮称）教育福祉総合センター建設工事の進捗状況含む）

最初に資料に従いまして「教育福祉総合センター建設工事」から説明をお願いいたします。

石川館長 資料1（仮称）教育福祉総合センター建設工事基本設計概要をご覧ください。場所は、つつじが丘南小学校の敷地を使って整備いたします。機能的には新築棟に教養文化施設（図書館、郷土資料室）を、既存校舎に教育と福祉の施設を、軽い運動を行う体育館を配置いたします。

整備の基本的な考え方は、平成24年3月に作成された「昭島市社会教育複合施設基本計画・基本方針」をベースに福祉部門を加えたもので、平成31年度の完成を目指しています。

新築される図書館部分は1階と2階になります。書架は自動化書庫を採用する予定です。自動化書庫というのは、閉架書庫の中で人が介在せずにクレーンや台車で本を運んでくるというやり方で、この辺りでは、あきる野市キララホール隣の図書館が採用しています。新しい図書館は開架19万冊、閉架20万冊の本を所蔵できるよう

設計してまいります。この規模と同じ規模の図書館を今日欠席されておりますが、図書館協議会委員の大串先生から紹介されて、愛媛県西条市立図書館がございました。現地に足を運びましたが10分前から自動化書庫から本が運ばれてくるという状況でございました。

続きまして今後の予定です。基本設計は5月で終了します。平成28年度実施設計、29年から工事に入る予定です。整備費は約40億円、市議会からは30年40年50年は持たせるのだからから将来のことも考えて建築するよう求められているところです。

続きまして2ページ目をお開きください。施設全体の配置設計図です。既存校舎や敷地出入口の校門を活用することで、つつじが丘南小学校の記憶が継承されます。敷地の東西に駐車場（60から80台）を確保しています。駐輪場は体育館北側に設置します。右側をご覧ください。新築棟の1階平面図でございます。出入り口を3箇所設け、南西側をメインエントランスとしBDS（蔵書盗難防止装置）を通り、ロビーにはアキシマクジラの骨格標本の原寸大を上から吊るす形で配置いたします。西側に郷土資料室展示室、企画展示、シアターを配置しております。南西側の階段を上がって2階に行きますと、アキシマクジラの骨格標本が身近に見られます。北西側と北東側の出入り口から、カフェスペースや市民ギャラリーを通過してBDS内の図書館に入りますと、児童コーナーや新聞、雑誌を配架し、賑わいのあるエリアとしております。中央にはガラス張りのイベントスペースで、市民の活動や来館者に見せるイベントを行える部屋に使います。シアターでは、郷土資料の無形文化財の祭り用の動画などを流したり、郷土資料室に団体でいらっしゃる方の集う場所として利用したり、また100人程度の講演をすることも可能な部屋と考えております。

先ほど議会からの要望についてお話いたしました。なかなか30年先のことを考えるのは難しいことでした。あるきっかけがありまして、岩手県紫波町図書館に行く機会がありました。ここはJR東北線に新駅を地元負担で設置し、駅前に図書館、その隣が道の駅、その隣が居酒屋、その前がホテルと運動場、と1日遊べる地域が形成されていて、一帯をフランス語で駅を意味する「Gare」（ガール）と、紫波の方言で成長を意味する「おがる」が語源で「オガールプロジェクト」と呼び整備しています。この地域は、図書館に紫波町産の豆をこのようにちらしにして紫波新聞として東北大学の先

生がボランティアで作成して図書館に置いてある、このようなことだけでも私を惹きつけたのですが、図書館入口を入ると、児童そして一般書の書架が並んでいました。その理由は、今後高齢化が進んで一人暮らしの高齢者も増えるでしょう。そうした高齢者が図書館に来て、子供の様子を入口から見ると元気をもらえるでしょう。このような考え方で作ったと説明を受けました。この考え方を踏襲しまして、新図書館で校舎側から入るBDSを入ると先ず児童そして一般のスペースを配置しました。新館図書館機能の特徴ですが、これまで図書館は静かに本を読むところという考えが強かったのですが、今後の図書館は、図書館の資料を基にして、仲間が集まり一つの「知」を作り上げていく、このような考え方が広まってきているようです。この流れに沿って整備を考えております。後ほど紹介いたしますが、今回、図書館協議会と共催で図書館見学ツアーの視察先として選んだ山梨県立図書館は、このコンセプトで建築された図書館です。

続きまして2枚目をお開きください。静かに本を読みたい人のためには、静寂読書室を設けました。また、学習室（50席）を設けましたが、いろいろ図書館を回ってみますと夏休みはどこも錯綜するので、予約制にするとか、対応を考えていきたいと思っております。また、静寂読書室の隣に個人ブースを設けましたが、ここは有料にしたいと考えております。東側には20万冊蔵書できる自動化書庫を設けました。3枚目は既存校舎のご案内でございます。

次に（仮称）教育福祉総合センターの基本設計に係る市民説明会についてですが、第1回は3月26日土曜日午前10時から市役所市民ホールで、第2回は4月12日火曜日午後7時から都市計画変更の説明を併せて、旧つつじが丘南小学校体育館で開催します。

続きまして（仮称）教育福祉総合センター建設工事基本設計（案）に係るパブリックコメントの実施についてですが、募集期間は平成28年4月1日から5月2日の32日間、周知方法は広報あきしま4月1日号及び昭島市公式ホームページに掲載いたします。

以上でございます。

真如会長  
田副委員  
石川館長  
原 委員

ご報告がありました。ご意見ご質問等ございますか。

パブリックコメントなどの期間はどこかに書いてありますか。

口頭での説明のみでしたので資料はございません。追って4月1日の広報ならびにホームページに出していきたいと考えております。

こちらの図面はこれで決定ですか。

石川館長　　いいえ。基本設計の終了が5月末ですので、パブリックコメントでのご意見等の変更が入ることもあります。

磯村係長　　これまでワークショップを3回させていただきまして、それに従いまして設計も当初から何回か変更になっております。またここでご意見を頂戴してそれを反映できるものを反映しながら、いいものを造っていかうと考えております。

真如会長　　パブリックコメントが28年4月1日から5月2日というお話でしたね。

原 委員　　ワークショップの時にもお話ししましたが、東側に人の出入り口はできないのですか。中神、東中神から来る方々は東側に1ヶ所ないと、ぐるっと回る形になってしまうので。そうでなくても本館はこちらに移ってしまうわけで、東中神に住んでいる方々はとても不便を感じると思うのですが。

磯村係長　　これは法律の問題がありまして、一つの敷地に立つ施設でございまして、まず南側道路に面して切り欠きの入り口を1ヶ所しか作れません。東側の面にも備蓄倉庫と書かれたところに入り口がありまして、あと一つ生垣の所に入り口があるのですが、それ以上増やせないようですね。ワークショップ時にも確認しながら歩いていただきましたが、東側は高低差もあるものですから。そうすると原委員がおっしゃっているのは、東の角の辺りでしょうか。

原 委員　　そうですね。自転車で来る方も多いでしょうからね。駐輪場は1ヶ所ですよ。

磯村係長　　はい。入っていただいて真っ直ぐ。

原 委員　　歩いて入れるところはどうかありませんか。

磯村係長　　今のところは駄目のようですね。

真如会長　　つつじが丘南小学校の門はそのまま残っていますよね。西側の門は閉じるのですか。

磯村係長　　閉じる予定です。東側は車の入り口と、人の入り口が一つずつ残る形でありまして、人の入り口は児童発達支援センターの建物に面していますが、そこから通り抜けられるか今はまだお答えできません。図書館側にもう一つ切り欠きを作るといのは困難な状況であると聞いております。これは予算とかそういったことではなく、決まりごととして切り欠きができないということです。

原 委員　　正門のところのみ。

磯村係長　　現状そうなります。いろいろご意見をいただいた中で、車が通れ

る動線等のご意見も頂戴しましたが、なかなか変更が効かなかったということです。

原 委員 現在西側にも入り口がありますが、そこも閉じてしまうのですか。  
磯村係長 駐輪場の北側ですか。そちらは人が入れるかも知れませんが確認はとれていません。基本的には既存の入り口を塞ぐ話は聞いていません。新たに作るというのは難しいということです。

原 委員 備蓄倉庫の入り口は通れる可能性はありますか。  
磯村係長 既存校舎には行けるので、ぐるっと回れば入って来られると思います。校舎も使いますから、今現在の備蓄倉庫の方から入りますと、遠回りになってしまうかもしれませんが回って来られる作りになっていますから、そこも変わらないと思います。発達支援センターの裏手を入れてこられればいいのですが、この辺の造りがまだはつきりしていません。

田副委員 発達支援と新館とは、何か敷居があるのですか。  
磯村係長 別計画ですので物理的な敷居はわかりません。一体で計画していませんので出入口をどのように活用できるかはまだわかりません。

真如会長 そう考えると、閉じる必要はなく、現在の備蓄倉庫の門は、おそらく（仮称）児童発達支援センターの後ろも前も通れるような形ではないかなと思うのですが。

磯村係長 現状、車が入れますので。  
全体の敷地としての扱いというのは、図書館がメインになっていますが、この場では確かなことはお答えできないのが現実です。

原 委員 人が歩けるような入口にしていきたいということをコメントとして残していただきたいです。正門の1箇所だけではなく、西側の既存の出入口を残していただければと思います。

磯村係長 承知いたしました。記録させていただきます。今日の話合いもおっしゃっていただいたことも、私がお答えしたことも全て議事録に記録されます。

田副委員 ワークショップで使われた図面と多少変わっていますか。

磯村係長 相当変わっています。

田副委員 光の関係を考慮したのかわかりませんが、東側は前と同じ高さのようですが、西側が低くなったような感じがするのですが。

磯村係長 ワークショップの時の自動書架の位置と新しい設計での位置が全く違いまして、自動書架は東側に移動させました。どういうことかということ、ワークショップの時の設計ですと、2階に段差ができる

設計でした。不便が生じるということで、その段差を解消する目的で東側に自動書架を移動したという経緯があります。それに従いまして形も変更しているということです。入口の形も変わっていますし、大きく変わっているのは、全ての入口の近くにカウンターを設けました。来館時にご案内できることと、本をそこで返却し身軽になっていただくためです。最初は無人の入口を入り真ん中にカウンターがあるという設計でしたが、必ずカウンターを通るようになりました。

1階は利用者が多くいらっしゃるそのような配慮をさせていただいております。

さまざまな意見を頂戴しましたので、その意見を反映させていただき、いろいろ変わってきました。

真如会長 よろしいでしょうか。

パブリックコメントの期間も出されていますので、活用していただきたいと思います。

それでは引き続き議題(1)図書館事業の進捗状況お願いします。

石川館長 資料2をご覧ください。

1月22日(日)コトリホールと公民館にて開催された2015青少年フェスティバルへの参加として、本のリサイクル展を実施いたしました。

当日の実績は展示図書4,284冊。利用者は398人。利用冊数は3,025冊。一人当たりの冊数は7.6冊となりました。

一昨年は入館時に待機場所で待っていた方とそうでない方との間で多少混乱もありましたが今回は前年度の経験を生かしまして無事に開催することができました。

続きまして、子ども読書活動推進事業として昨年に引き続き、児童作家の杉山亮先生による講演会を12月12日午後1時から行いました。80名の参加がありましたが、小学生でも親子で来ている方やお話会でボランティア活動されている方も参加していたのが印象的でした。杉山先生は今年12月3日にも来ていただく予定です。

続きまして1月28日に図書館協議会との共催で行いました図書館見学ツアーについてです。視察先は山梨県立図書館です。最初にこの県立図書館の設計に携わった大串先生からこの図書館は県立図書館では岡山県立図書館に次いで2番目の利用が多い図書館といった説明のあと館内を視察しました。利用者から理念に基づいて設計を具体的に進めているのが立派だが、交流室を設けてあとは利用者

任せっぱなしでいいのかなという感じもあると私宛てに手紙が届いてもおります。

続きまして2月21日に行った松田素子さんの講演会です。講演に先立って担当司書と一緒に話を聞いたなかで、松田さんはまどみちおさんと交際があり、彼女が宇宙飛行士の毛利さんと共著で本を書いたことがあることから、まどみちおさんが是非毛利さんに会いたいと言われ、毛利さんを紹介したところまどさんがまるで小学生がするように質問をしたとか。また、松田さんが座右の書としてノードストロムというアメリカの児童本の編集者が書いたノードストロムの手紙をあげていました。少し高い本でしたが私も買いました。読んでみると挿絵も可愛かったでしたし、あのヘミングウェイも有名な編集者に見いだされて世に出たとか知りまして面白かったです。

今後の予定ですが、今週土曜日に読書フォーラムを行います。資料3をご覧ください。場所は市民ホール。時間は1時半からです。参加予定者は11名。金井先生の啓明学園からも3名出していただいております。先生ありがとうございます。学年別では1年生が6名、2年生が4名、3年生も1名という内訳です。このビブリオバトルは昨年からはじめられております。昨年優勝した生徒は地元紙でも紹介されましたが、今年国立高校に進学が決まったそうです。また、荻原先生は高校生の企画実行委員が探してくれた都立拝島高校の先生です。分館分室事業は1月にぬいぐるみのお泊り会、2月に高齢者向け講座「方言ってどんなもの」を実施しました。以上でございます。

真如会長      ご報告ありましたがご意見ご質問等ございますか。

今週土曜日のお話もございました。

よろしいでしょうか。

それでは議題2平成28年度昭島市民図書館運営方針（案）について説明をお願いします。

石川館長      平成28年度昭島市民図書館運営方針（案）についてご提案いたします。資料4をご覧ください

昭島市民図書館は、市民生活に欠かすことのできない社会教育施設として、また、生涯にわたる自主的な学習活動の場として、市民に親しまれ、市民に役立つことを目指しています。

また、新しい情報通信技術の活用により、地域の情報拠点としての機能を発揮するとともに、子どもの読書活動推進のためのさまざまな事業、児童・青少年の読書活動、図書館利用の推進及びあらゆる

る人に対応した読書環境への整備を進めています。

図書館ボランティアとの交流を深め、市民との協働による運営や、近隣他市の図書館との連携も図っています。

(仮称)教育福祉総合センターの中に図書館機能(以下「図書館機能」という。)の整備が計画されており機能の充実を図ります。

以上を基本方針とさせていただきます。

次に運営方針です。

1. 貸出冊数は現行6.3冊、市民の登録率は現行23%ですので、それぞれ6.5冊以上、25%以上としました。

2. 子ども読書の関係では第二次昭島市子ども読書活動推進計画に基づき取り組んでまいりましたが、その結果等を踏まえ第三次子ども読書活動推進計画を策定してまいります。

3. 図書館資料の購入にあたってはこれまで図書館利用者のリクエストや社会ニーズに基づき購入してまいりましたが、新しい図書館に向けて蔵書の充実を図ってまいります。以下は昨年度と同じでございます。

続きまして、主要な取り組み課題です。

1. 図書館機能に向けての円滑な移行事務をあげました。移行担当の課長も設置することで組合にも提案しています。また、後程ご案内いたしますが、28年度は図書館協議会を4回開催し、図書館計画等についてお諮りすることを考えております。

2. 第三次子ども読書活動推進計画の策定です。この計画につきましては現在、第二次の実績及び国、東京都の第三次子ども読書活動推進計画などをもとにしてたたき台を作成しています。4月5月で庁内検討委員会に諮り、7月から10月にかけて昭島市子ども読書活動推進計画策定委員会を立ち上げ議論していただいた後、教育委員会にかけ、パブリックコメントを実施したのち来年3月議会に報告するという予定を立てています。この策定委員会には図書館協議会からも会長を委員として出してもらっています。

3. オンラインデータベースの導入です。昭島市民図書館では開館以来過去の新聞が検索できるマイクロフィルムを採用してまいりました。昨年、この機械をメンテナンスしている業者から、故障した場合の対応が今後取れないと通知があったことを踏まえ調査したところ、都立図書館でパソコンを使って各人が自由に新聞記事を検索できるオンラインデータベース事業を行っていることを知り、今年度耐震工事終了後から実施する予定です。



内容は新聞の5大紙、官報、法規情報です。

続きまして国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの実施です。国会図書館の送信サービスは3つありまして、一般向け、図書館向け、そして歴史的音源とあります。国立国会図書館には4000万点の資料がありますが、図書館向けでは戊辰戦争の絵巻物、大正時代の日本風景選集等貴重書140万点が図書館向けにデータ配信しておりましてこのサービスにつきましても耐震工事明けから実施したいと考えております。設置に向けた費用はかからない見込みです。

5番以降は昨年と同様です。以上です。よろしく申し上げます。

真如会長  
吉野委員

ご説明がありましたが、ご意見ご質問等ございますか。

学校図書館との連携で、28年度の小教研の図書館部会はまだあるのでしょうか。

真如会長  
石川館長

28年度はありません。

図書館部会はないと聞いていますが、夏休みの課題図書等がありますので連携を密にしていきたいと思っています。

原 委員  
石川館長

3. 4番のオンラインデータベースですが、有料になりますか。

無料です。オンラインデータベースをコピーする場合は10円ですが、印刷すると色が違うとかご期待に添えないところがありますので国会図書館の方は見るだけにしたいと思っています。

田副委員  
磯村係長

本館の耐震化が終わったらレイアウトが変わることはありますか。ほとんど変わらないです。パソコンコーナーがございまして、そちらでオンラインデータベースを利用させていただこうと思っています。プリンターは白黒のレーザープリンターでカラーは対応できませんので、写真も白黒で出てしまいます。ただ大手各社のオンラインデータベースを入れますので、画面で見えていただく分には色々な情報が見えていただけます。マイクロフィルムというのは検索ができませんので、「何年何月何日の新聞」というのをずっと追って記事を見つけるのですが、オンラインデータベースですと、検索してすぐ記事に到達できます。昔の紙面をそのまま復元している部分もあり、テキストページだけではなくそのまま見えていただけます。法規も検索していただいて、情報に到達するまでの時間は飛躍的に改善されるのではと期待しております。

田副委員  
磯村係長

導入に伴っての費用は。

導入費用はかかりますが、オンラインデータベースのコピーは1枚10円になります。

石川館長 国会図書館の導入についてはかかりませんが、オンラインデータベースはかかります。

真如会長 議題3 昭島市民図書館予算について説明をお願いします。

石川館長 平成28年度市民図書館活動予算について報告いたします。

1. 図書購入費は3000万円、昨年度と変更ありません。なお一層選書には力を入れていきたいと思っております。一般書と児童書の割合は2対1でこれは近隣市にくらべると児童書の割合が高くなっています。

2. 子ども読書活動推進事業のうち第三次子ども読書活動推進計画策定事業は50万円、会議5回分を計上しています。昭和分館では11月に本多先生の墨絵講座が開催されます。前回見させてもらったときは部屋がいっぱいで通路に座り込んで聞いている人もいました。先生よろしくをお願いします。中学高校生の読書フォーラムは3月18日(土)に行う予定です。高齢者事業では今年度は振り込め詐欺の講演会を昭島警察の協力を得て行いましたが、高齢者が関心のある年金、相続あるいは健康といったテーマで開催し、高齢者の図書館利用の促進につなげていきたいと考えております。

続きまして平成28年度昭島市民図書館年間事業計画です。本のリサイクル展はこれまでどおり年3回実施します。耐震補強工事につきましては2月29日無事工事業者が決まりました。休館は7月末とお示ししておりますが、できるだけ早くオープンしたいと考えております。子ども読書活動推進事業の大きな柱に学校図書館支援事業があります。小学校教育研究会で今年度から図書館部会がなくなると聞いておりますが、夏休みの課題図書等これまでと同じ対応がとれるよう学校側と連絡を密にしていきたいと考えております。

先ほど申しましたように今年度は図書館協議会を4回開催する予定です。第1回は7月に開催する予定です。一方、これまで図書館協議会と共催で図書館見学ツアーを実施してまいりましたが、この見学ツアー最近では新館に向けてというコンセプトで計画してきましたが、新館図書館機能の基本設計も今年の5月には完了する見込みということもあり、現時点では考えておりません。

真如会長 ご意見等ありましたらお願いいたします。

原 委員 図書購入の割合が2対1とありますがその利用状況は。

石川館長 図書購入費の予算が3000万円で2000万円が一般書、1000万円が児童書で昭島市は近隣市よりも比率が高いです。近隣市は一般書9：児童書1ほどですので、昭島市は児童に力を入れている

ます。先ほど「ノードストロムの手紙」の話をしましたが、この本も図書館にあります。それだけ開館当時から児童に力を入れていたのかな、と理解しております。

真如会長 よろしいでしょうか。

その他についてですが、今回は（仮称）教育福祉総合センター整備にあたり、その参考にしようと石川館長が全国の図書館を67ヶ所歩いたということですのでお話いただきたいと思います。

石川館長 それでは今度の新しい図書館機能を建設するのにあたりまして、参考とした図書館をご紹介します。

恐れ入りますが、視察先一覧をご覧ください。資料6の次ページに添付しました。北から順にお示ししております。紫波町図書館については先ほど申しましたが、今でも秋田県立図書館から司書を派遣してもらっています。

次に一関図書館。昨年秋に訪れました。館長から一関市に合併される前の川崎村にあった図書館が住民登録より図書館登録者が多いという説明にひきつけられました。また本館自体も利用者が多いなという感じもしたので再度訪ねてみたいなと思い、1月末に訪ねました。この時は川崎村にいた司書の方から話を聞くことができました。川崎村の時は職員と臨時職員がコミュニケーションをよく図り、基本的な方向を同じにしていたということ。さらに図書館の力とはと尋ねると「1冊の本が人生を変える。また、ふらっと寄った図書館で情報収集に役立つことを知り、図書館利用が習慣化され、生活の一部となる」と話していたことが強く私の胸に刻まれました。なお、当時川崎村の図書館で司書をしていた早川光彦さんは南相馬市から割愛人事（南相馬市が川崎村を辞める退職金を払って南相馬の職員になるという制度）で南相馬の図書館作りに励み、震災後現在富士大学の教授をしています。

秋田県立図書館の山崎館長からは図書館と書店との違いについて教えてもらいました。書店は新刊書を中心に置いているが図書館は新聞のほか雑誌そして古い本も置いていて、それらを比較して自分の考えを持つことができる場所。そして、現在は個の時代といわれているが、震災後図書館に多くの人が集まる場所と、東北地方の図書館関係者は皆見ているとのこと。なぜ交流センターでなく図書館に人が集まるかという図書館には情報があるからだと話していました。

次に南相馬図書館です。この図書館の館長の前職は企画課長。仮

設住宅の住民に安心を与えていけるのは図書館との思いから館長志願したそうです。一方、図書館職員は復興に携わらないから暇と思われないため、着任早々から夏休みの事業を10本立ち上げたそうです。

次に白河図書館です。わたしが訪ねた1月末は大雪で一面の雪景色のなかでくっきりと夜間照明に映し出された図書館は幻想的でした。ここには新さんという司書がありますが、彼は東大を卒業し、静岡県立図書館で働いていたところで白河の司書職公募に手を挙げた職員です。彼と南相馬の高橋さんという司書は日本の図書館を引っ張っていくと早川先生は話していました。よくマスコミでタイの風俗とか埼玉県のラーメンマップばかり強調されていますが、2人の司書は選書に非常に力を入れ、魅力的な書架を作っています。また昭島市は平成31年度に新館を作りますが、新館を作ったただ本を入れればよいというのではなく、今から少しずついい本を選んでいくことが必要と強く思いました。

次に新潟中央図書館。ここのカフェは巻町のワイナリーが経営しているそうです。昭島もカフェでも人が呼べるようにしたいです。

次に聖籠町図書館。ここは昭島の図書館を設計している佐藤総合が設計をした図書館で、昭島の担当者が設計しました。使い勝手の悪いところを館長に聞きました。このとき感じたのは聖籠図書館の通路がビニールカーペットでできていて音がうるさく、修理が難しい。また、東京府中市では床をフローリングにして怒られたという話も聞いていましたので、図書館の床はタイルカーペットがいいのではないかという結論になりました。

次に伊勢崎図書館。昭和20年8月15日の未明に空襲を受けるも1カ月で再開はすごいと思いました。

次に長野県塩尻図書館は開架を増やして利用者が増えた。司書の活躍が目立ち、図書館の仕事が好きで結婚しない女性が多いそうです。

小布施図書館。冷水機に備え付けの紙コップが茶色でした。文化の香りを感じました。

次に明治大学図書館。京王線の明大前駅前にあります。事務長さんが熱心な方で図書館工事が始まってでも工事業者と打ち合わせを続けた図書館です。ポスターやチラシも一つの美として考えて展示していました。新宿の四谷図書館。新宿区は指定管理をするのに議会の反対はなかったそうです。四谷図書館は本屋の紀伊国屋が指定管

理に入っているののでいつも新しい本があるそうです。北新宿です。私が訪ねたときの館長はもう退職してしまったのですが、その館長はデパートのそごう出身の方で本の表紙に力があることを見抜き、それを前面に出していました。このような取り組みからでしょうか館長がいればもう一度訪ねたい図書館です。新館図書館機能でもできるだけ表紙を出す面出ししたいと思います。図書館ではないのですが、地下鉄神楽坂の新潮社の出口に近いところに、かもめブックスという書店があります。入口を入るとカフェがあってその後ろに書架が並んでいるのですが、その書架が月曜日から日曜日にかけて読む本が並んでいます。例えば月曜日ですと新しい朝を喜ぼうというタイトルで並んでいる本は谷川俊太郎詩選集、日曜日はかけがえない一人の時間というタイトルで漱石の三四郎、祝日はそれでも人恋しくてというタイトルで谷崎潤一郎の恋文がならんでいました。

続いて愛知県田原図書館。館長は公募です。伊良湖岬と鳥羽を結ぶフェリーが廃止になると聞き、市全体の取り組みの中で鳥羽図書館長と相談してフェリーの模型を図書館に置くなど啓発に努めたところ住民の心に灯をともし、反対運動となって今フェリーは存続しています。図書館の力を実感した図書館の一つです。

岐阜県多治見図書館です。ここはアパレル産業出身者が館長で27年度塩尻市を破ってライブラリーオブザイヤーを獲得した図書館です。普通指定管理は5年が限度といわれていますが、指定管理となった文化振興財団は最初に指定管理をとった時に、次もとろうと積極的にセールスをし、たとえば小学校で修学旅行があると聞けば図書館から本を提供するとかに取り組んでいたようです。

滋賀県愛知川図書館は昭島市で毎年講演をさせていただいている杉山亮先生の推薦で行ってみました。この館長は仙台市の図書館で働いていたところを愛知川の副町長と教育長からスカウトされたそうです。

次に福井県鯖江図書館です。阪神淡路大震災のあと建設された図書館で耐震構造になっています。新館図書館機能も耐震と思い、其の後視察を続けると耐震は費用が膨大になるため、免震構造にしたという図書館を知り、免震構造にしました。

次に鳥取県立図書館です。福島の新聞を置いている事情を聞くと、鳥取県にも避難している人がいる。ニュースでは復興や除染の状況がわからない。それで福島県の地元紙を置くことにしたことを聞き、これなら昭島でもまだ避難している方が50人近くいるのでしてい

こうと思い、調べてみたところ福島県のふるさと帰還事業で福島県の予算で対応してくれることがわかり、10月からサービスを開始しました。それと大活字本です。昭島市でも毎年50冊から60冊購入していますが、鳥取県あたりですと市町村の図書購入費は年間200から300万円で1冊2千円位する大活字本は購入できない。高価な本は県立が対応していると説明を聞き、大活字本を普通に購入できる有難さを実感しました。

次に愛媛県西条市です。西条市はかつて国鉄総裁で新幹線生みの親である十河信二氏ゆかりの地で戦争中憲兵に睨まれて四国に帰ったときに地元からの強い要望で市長になった土地です。西条市は瀬戸内海に面しているながら町のあちこちに湧水があつていい街です。この図書館を訪ねてみたいと思ったきっかけは今後、図書館機能でICチップを導入して自動貸出、自動返却を実施していくなかで既存の図書に貼り付けるICチップが必要になります。業者に聞くと1枚100円という。このことを大串先生に話すと西条市では60円でやっていると教えてもらいました。調べてみると一昨年は59円、昨年は58円でした。業者は足元見るんだなと実感しました。

次は九州です。最初の佐賀県の伊万里と武雄です。伊万里図書館の館長も公募です。伊万里焼のカップで珈琲を飲みながら「石川さん、図書館は図書館原理主義になってはいけない。行政の一部門ということ忘れてはいけない。図書館関係者以外の人たちとの交流をせず、図書館の中だけで主張する。これではいけない。」と言われたのが印象的でした。私が訪ねたときは大分県の杵築市図書館の司書の方が休みを利用して見学に来ていましたが多くの視察者があります。そして武雄です。JR武雄温泉駅から図書館までマンションが8棟建っていました。駐車場は警備員が立っていて満車のプラカードを持っていました。カフェでは図書館から借りた旅行ガイドで旅行先を決めている様子やアベック、ベビーカーに赤ちゃんを乗せて来ているお母さん、高齢者と大変賑わっていました。

最後は長崎県です。長崎市立図書館は鳥取県立図書館で紹介されました。医療情報（特にがん関係）の書架が充実していました。話を聞くとTRCがPFIで受けていますけど開設当初レファレンスでがん関係の相談を受けても何も答えられなかった。これではいけないと働いている人が休みなど利用して病院など回って資料集めをした。すると関係者が若い人がこんなに頑張っているのだから自分たちも協力させてくれと言って書架が作られたそうです。

最後は諫早のたらみ図書館です。ここも寺田氏が設計していました。ホールの先からは美しい海が見えました。

真如会長 ありがとうございます。新図書館が素敵なものになることをひたすら願いたいと思います。すごく夢が広がります。

他にありませんか。

田副委員 今までの図書館とは違ったイメージで作ろうと感じますが、いろいろな図書館があるように思えますが。

石川館長 そうですね。例えば山梨県立図書館では、甲府駅前には昔の賑やかさがなくなっているため賑やかさをコンセプトに作られています。それから合併前の一関市の川崎村は本屋もなく若い人がどんどん流出してしまう。その流出防止のために図書館を作ったそうです。昭島市は何かないかという、少子高齢化が進んでおり、市長は「住み続けたい住んでみたい昭島」と言っていますので図書館も課題解決していかなければと感じています。

矢藤委員 図書館見学ツアー行かせてもらって、行ったからこの図を見るだけで何となくイメージが湧きます。やはり行かないとこれだけ見ても何にもわからなくて、ツアーに行ったことによってレイアウトなどを見るとすごく想像できます。ですから、とてもツアーが良かったので、なくなるのが残念です。毎回同じような顔ぶれで楽しみにしている方がいるのかなと思いました。それから本館がなくなるので市内東側の市民のための政策はありますか。

石川館長 見学ツアーについてですが、本日欠席している部長から図書館協議会の意見を聞くようにと言われていまして、現在予定はありませんが、意見を聞きながら対応を考えていきたい。

図書館については、道路の拡幅工事のため平成31年度中には更地にしないといけない。ただ、多くの市民から要望がありますので今は場所と規模を検討中でございます。

原 委員 見学ツアーに参加しましたが、行ってよかったと思っています。特に建物が立派でした。民間委託をするのは駐車場、カフェなどの管理部門でいいと思いますが、図書館の中心になる部分、選書やレファレンスについては、是非新館図書館には市で、若い力のある司書に数人入っていただき、これからの昭島市の図書館を作り上げていただきたいと思っています。

私が図書館実習をした際、まだ図書館が開館して年数が経っていませんでしたが、当時は司書がたくさんいらしてレファレンスや貸出でも質問をするときちんと答えてくださいました。特にレファレ

ンスに関しては親切に的確に対応していただけたのでとても有難かったです。学生時代は学校図書館を利用できますが、社会人になってしまうと公共図書館が頼みの綱であり、市民図書館には専門の方に長くいていただきたいです。

図書館の仕事は経験がものを言い、レファレンスがあればあるほど自分でも勉強しなくてはなりません。TRCなどにも司書はいらっしゃいますが、外部委託にしてしまうのではなく、市職員で司書を何人か配置していただきたいと思います。現在は司書が少なく、とてもよく仕事をされていた方がお辞めになってしまい、後に続く方がいないという印象ですので、新館図書館に向けて考慮していただきたい。

石川館長 現在の市の置かれている状況、社会的影響を勘案し、最適な方法を決めていき、検討を重ねたいと考えております。

真如会長 学校図書館もそうですね。図書室に専門の方がいてくださると子どもたちの利用が全然違います。市民図書館も同じだと思います。配慮してくださるのではないかと思います。

石川館長 平成28年度第一回図書館協議会は7月に予定しております。PTA協議会の総会が例年6月ですので、美坐委員、久保委員は今日がおそらく最後になると思います。委員の皆さん1年間ありがとうございました。

磯村係長 これで本日の協議会は終了します。ありがとうございました。